

WASABI 180N

VOL. 15

18+
FOR ADULTS ONLY



わい、私服の空母とイチヤイチヤしたいんや。

え、
命令とあらば...

誌名：WASANBON vol.15
サークル：わさんぼん
著者：wa
発行日：2019年12月31日
印刷：(株)グラフィック様

twitter : @washizutan2
pixiv id : genryusui

本書は18歳未満の閲覧、および画像の無断使用、
無断転載を固く禁じる。画像の無断転載を発見
した場合、速やかに法的措置を取ります。

まずは赤城と待ち合わせ。鎮守府の外で会う赤城は優しいお姉さま感全開で、一瞬彼女が艦娘だということを忘れてしまう。それにしてもこの楽そうな服装、メシは食い放題などと言いつもりではあるまいな…



提督、
お待ちしておりました

それでは早速
お昼ごはん…
いいえ、
なんでもありません



良い天気ですね

こんなに良い天気だと
任務のことなんて
全部忘れてしまいそうです

今日のような小春日和の気候では、上着を着たまま街を歩くと少し暑くなってしまう。赤城も暑くなったのか、早々に上着を脱いでしまった。のびをしたくなる気持ちはわかるのだが、街中でそのパイ斯拉は少し刺激が...

デートもそこそこ早速ご休憩所へと移動。あんなパイストラを見せつけられて我慢できようか。いや、できない。(反語)
まだ日も高いが夜戦とじゃれ込もうか。見せてもらうぞ、一航戦の力。



確かに私は
たくさん食べますが...

太って...
ないですよね?

いや、太ってないぞ。一部分以外は。それにしても赤城さん、それは勝負下着というやつですか。なんともまあ、
ゴージャスな下着が良くお似合いです。なんと言うか、脱がせるのがもったいない。脱がせるんけど。

早速飛行甲板を点検...おっと、今はデート中だったな。たわわに実った乳房の感触を確かめねば。たゆたゆ。ばふばふ。うーむ、大きさと言ひ柔らかさと言ひ流石は一航戦。良きかな良きかな。

少し
恥ずかしいんですが...

あの...
いつまでいっしょしてれば...

たゆん

たゆん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

どれどれお味は...と、陥没気味の乳首を舐めた瞬間、先っぽは固くなり乳頭の先端が顔を覗かせる。赤城は必死に耐えているが、提督が一舐めするごとに切ない声が漏れてしまう。ここには二人しかおらぬ。我慢せずとも良いのだぞ。

赤城を後ろから抱え上げ、おもむろにペニスを挿入。フェラチオをしているだけで濡れてしまったのか、ずいぶんすんなり入ってしまった。

そんな

いきなり

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

いきなり飛ばしてしまったので、今度はバックから尻肉を掴みながらねっとりとしたピストン責める。それにしてもよく揺れる乳房だ。

そして肌と肌を密着させた寝バックを楽しむ。
体重をかけて膣の奥までペニスを突き立てると、
そのたびに赤城は身体をのけぞらせる。



最後は赤城を抱え上げて膣内射精。赤城の重みを感じながらの膣内射精は存外に心地よく、射精はいつまでも続く。

わい、エッチな下着の空母ともイチャイチャしたいんや。



あの…
あまり見ないで頂きますか…
恥ずかしいので…

お次は加賀と待ち合わせ。時間通りに到着したのに、なんだか不機嫌そう。加賀さん、もしかしてかなり早くからお待ちになっていたのでは...?

い、いえ...
なんでもありません

ずいぶん遅...

あら、提督...



恐る恐る近付いてみると、加賀さんはおもむろに腕を絡めてきた。腕を絡めるというより、もはやこれは胸を当ててんのよ状態。少しくっつきすぎでこっちが恥ずかしくなってしまう。



ここは少し寒いので……

では参りましょうか

いきなり参りましょうかと言い、多くは語らない加賀。よほど待ちきれなかったのか、腕を掴む手に熱を感じる。

ご休憩所に到着するや否や、いきなり服を脱ぎ始める加賀。言葉少なだが、あなたも早く脱ぎなさいよと目で訴えかけてくる。そう急かされてもムードというものがだな...



私の顔に、
何かついていて？

何かしら？

加賀の訴えを無視する訳ではないが、視界に飛び込んできた豊富な乳房に目がくらみ、自分が脱ぐ前に手を出してしまった。手のひらで乳房の感触を楽しみながら、指先で陥没した乳頭をぶにぶにとまさぐる。実に触り心地が良い。

あの、提督…

お召し物…
私が脱がせましょうか？

おっぱい
おっぱい

おっぱい
おっぱい

あ…

熱いです…

遅…

おっぱい

おっぱい
おっぱい

おっぱい
おっぱい

いつまでも自分だけ服を着ていては申し訳ないと思い脱ぎ始めると、おもむろにパイズリを仕掛けてくる加賀。やっとお目当てのものを手に入れたかのような、満足げな表情でペニスを弄ぶ。

提督を押し倒し、半身をのしかからせフェラチオをする加賀。根元から先端まで丁寧に舌をはわせると同時に、細い指でカリ首をこねくり回す。よほど美味しいのか、その表情は恍惚そのものだ。



一航戦特有の手を使わないフェラチオ。んぐんぐと音を立て吸い付くさまは、草食動物を捕食している肉食獣のようだ。

しばらくフェラチオを楽しんでいたかったが、そろそろ限界。とりあえずバックから挿入するかと突っ込んでみたものの、ん？これは少しキツイかも。十分に濡れているようだが...



なかなか入らないので加賀の肩を掴んで徐々に根元まで入れてみる。奥に行けば行くほど肉の壁が行く手を阻み、ペニスが押し戻されそうになる。頑張れ俺。負けるな俺。

十分お肉がほぐれてきたところで、体を裏返し正常位でらぶらぶえつち。
加賀はもっと、もっとという表情で目一杯脚を拡げ、
ペニスを迎えようとする。



最後はお約束のまんぐり返しの体勢でたっぷりと精液を注ぎ込む。射精のリズムに合わせて長い脚をバタつかせ
絶頂を迎えるさまはとても美しい。加賀さん、あなたこそ一航戦の鑑だ。

二航戦って、女子大生ってイメージだよな。

え、
艦娘ですけど…



蒼龍が通う大学(妄想)のキャンパスで待ち合わせ。髪を下ろした蒼龍っいかにも大学生って感じがして好き。



少し恥ずかしいかも…

う~~~~…

おはようございませすー!

提督!

親しげに手を振られて少し優越感に浸ったりして。悪ノリして手をつなぐよう催促したところ、断られるかと思いきや照れながら繋いでくれた。

授業中の蒼龍はあまり真面目とは言えず、常に眠そうにしている。任務と学業の両立はなかなか難しいようだ。

512

起きてらんらい...

228

最近ちよつと
出撃が多くなって...

きつてつと

おわりおわり♥

今日はどこに
行きましようかね

授業が終わるともう学校に用はないとばかりに早速おでかけ。スマホを取り出してお目当ての場所を検索し始める。

ま、なんだかんだでご休憩所に到着。蒼龍は思い切り良くセーターとスカートまで脱いだものの、最近また大きくなってしまった胸を見られるのが恥ずかしいようで、なかなか下着に手をかけようとしない。



んんん...

この部屋...

明るすぎませんか？

ほっ

よっ

豊かな胸もさることながら、このなんとも美味しそうな下半身よ。早くわしづかみにしてぶるぶるしたい。

いつまでも恥ずかしがりやがって...ええい、遅い！これでは埒が明かぬ。敵は3分もあれば火星から月まで来るぞ。こうなったらさっさと脱がせてしまおうそうしよう。

あっ
やだあ...

あんまり見ないで...

て、提督？

もぉ~~~~

んん

うん

あまり触られると...

はっ

おにん

おにん

おお、この重量感。これよこれ。恥ずかしがる蒼龍を前かがみにさせ、手のひらで乳房の重量感を楽しんだりして。

乳の感触は十分楽しんだし、どれどれ下のお口の味は...ううむ甘露甘露。舌でなげればなげるほど甘露な泉が湧き出してくるわい。



おん...
こっよ
こっよ

おん...

おん...

きたな...
い...からあ...

だ、だめ!
そんなとこ!

おん...

おん...

おん...

おん...

おん...

おん...

おん...

おん...
おん...
おん...

ええい、尻肉が邪魔だわいとばかりに蒼龍を仰向けにさせ、膣に舌を挿し入れる。みっちり詰まった肉壁をかき分け、舌を奥へ奥へと進ませるたびに蒼龍は切ない声を上げる。ダメと言われても美味しいものは美味しい。

執拗なクンニで肉壁が十分ほぐれてきたところで、まだ恥ずかしそうにしている蒼龍をペニスの上に跨らせ、自分で挿入するよう促す。肉をかき分けかき分けゆっくりと侵入するペニスの感触に蒼龍は顔をゆがませる。



おっきいの
む、無理だよ...

クニニ... クニニ...
クニニ... クニニ...
クニニ... クニニ...
クニニ... クニニ...

のびる...

クンニで既に軽くイってしまったからか、それとも慣れていないからか、蒼龍のたどたどしい腰の動きがじれったい。それではこちらも動いてやるかと提督が腰を動かじ始めたたん、蒼龍は牝の顔になり歓喜の声をあげた。

騎乗位ばかりでは可哀想なので、お次は横臥位でねっとりゆっくり膣を小突いてやる。相当優しく腰を動かしているが、今までの刺激が溜まり過ぎたのか、既に蒼龍は限界に近いようだ。



最後は肉厚な尻に体重をかけながらの膣内射精。提督のペニスの味を忘れぬよう、たっぷりと精液を流しこんでやる。

生意気な二航戦がベッドの上でどう乱れるのか見てみたいよ。な。



えっ

なんかオヤジくさ..

いいえ
何でもないです...

蒼龍と同じく女子大生な飛龍。キャンパス内で待ち合わせたものの、飛龍は約束の時間から大幅に遅れて登場。どうやら盛大に寝坊して今やうと登校した、という状態のようだ。



提督に怒る暇も与えぬ電光石火の腕組み攻撃。いいじゃんいいじゃんと言いつつ体を密着させてくる。瘦身のわりには出るところは出ている飛龍、わざとなのか無自覚なのか…腕に柔らかな感触が…

早く行こうと言うのでどこへ向かうのかと思いきや、いきなり構内の売店でおやつを買い始めた。
腹が減ってはなんとやら、という理屈はわかる。しかし授業はどうした飛龍よ...



飛龍に付き合っ買ってしまったからあげ棒、さて自分も食おうかと取り出した瞬間、横から熱い視線が...
しゅしゅ差し出すと飛龍は目を輝かせて詰め寄ってきた。フランク1本だけでは二航戦の腹は満たせなかったようだ。

授業もそこそこにもたもたご休憩所へ。世間様と全く違う時間軸で活動する、このいかにも大学生的な退廃した感じ、好きか嫌いかと言われるとそんなの好きに決まってる。

よっと

ふっふっ

今日は走って来たから

なんだか疲れちゃったよ

蒼龍と違って最後まで思い切りが良い飛龍。少し恥ずかしそうな表情をしながらも、身に着けているものをどんどん脱いでゆく。その可愛い下着、もう少し眺めていたいがこちらも早く準備をせねば。

またたく間に一条まとわぬ姿になった飛龍、提督がまだなのに自分だけさっさと脱いでしまったことに気付いて少し恥ずかしそう。気にせんでもええんじゃよ。飛龍の好きにやったらええ。

う~~~~~

提督も早く
脱いで下さいよ~~~~

自分だけ脱いじゃって
なんか恥ずかしいじゃん……

はやく……

……しよ?

♡

それにしてもこの身体、無駄肉とは無縁の見事なバランスではないか。できればずっと視姦してたいのだが…

好きにやったらええと言ったとたん、飛龍は提督のパンツに手をかけた。じっと提督を待っているのが恥ずかしくて耐えられなかったようだ。



フ、フランクフルト...

いただきます...

わっ

あーん

あーん

おっきすぎて
口の中入らないです...

あーん

あーん

それに...

熱くて...

ガッチガチで...

あーん

あーん

あーん

あーん

さっき売店でフランクフルトを咬んでいた飛龍の口が今まさに提督のペニスを咬める。亀頭のプニプニした感触が楽しいのか、舌で弄びながら時々歯をたてて甘噛みする。まさか食ってしまうつもりではなからうな...

いつまでも飛龍の遊びに付き合っているわけにはいかぬとばかりに飛龍を抱え上げ、そのままペニスを突き立てる。前戯もなしですんなり入ってしまうとは、さてはフェラチオで既に濡れておったな。このいやらしい二航戦め。



一気にイかせてやろうと飛龍を羽交い絞めで逃げられぬようがっちりホールドしてピストンしまくるが、飛龍が喘ぐたびに膣壁が収縮しペニスをぐいぐい締め上げるのでこっちが先にイっでしまいそうになる。

ううむ、これではこちらが先にイカされてしまう。逃げられぬようホールドしたつもりが逆に捕まってしまったようだ。ここは自分の身体をフリーにして緩急を付けたピストンをしつつ奥までペニスが届くよう脚を上げさせて..



飛龍の膣が激しく痙攣し、いきそうになのがわかったと同時に、まんぐり返しの体勢にしてさらに奥までペニスを突き立てる。飛龍が絶頂を迎え膣がギュッと締まる瞬間、提督も射精。ふう、危なく先にイカされる所だった...

NOBUN ZAWA

NOV. 12

+81
FOR ADULTS ONLY

